

NEWS RELEASE

報道関係各位

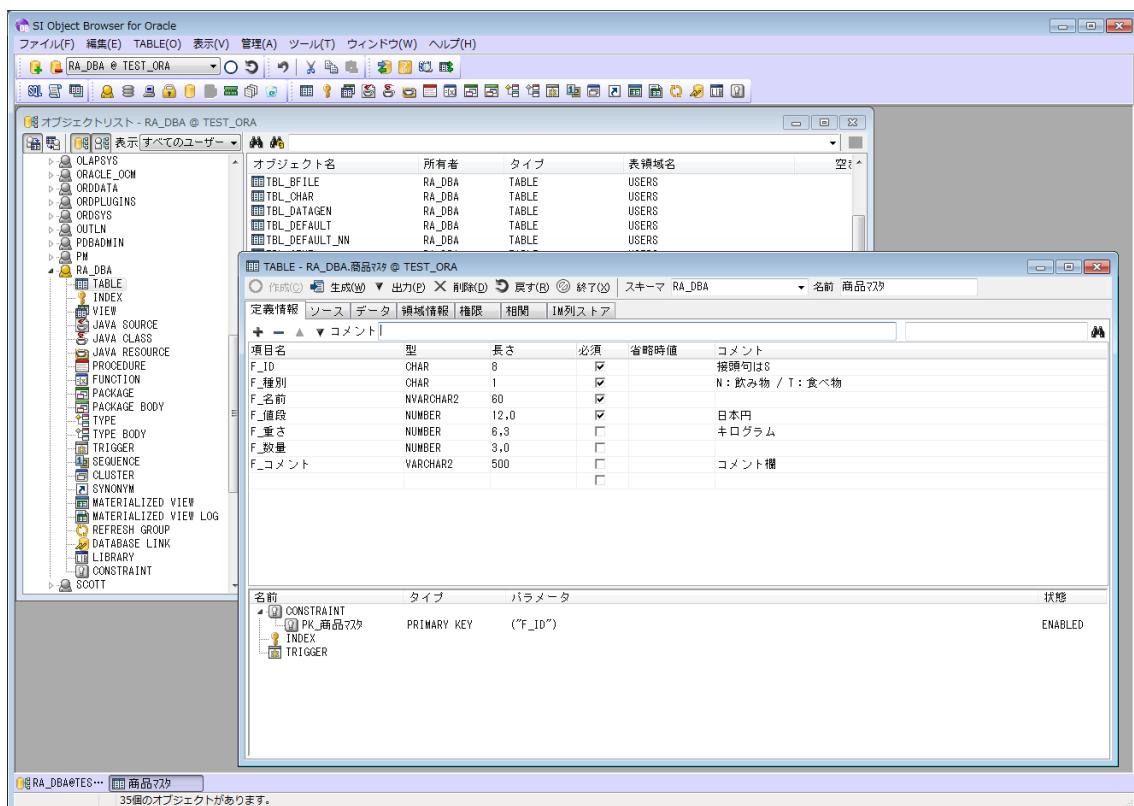
2015年8月19日

株式会社システムインテグレータ

インメモリ対応、AWSクラウド環境への対応を実現！
「SI Object Browser for Oracle Ver.13.0」バージョンアップリリース
 ~Oracle最新機能対応とAWSクラウド環境への対応~

株式会社システムインテグレータ（本社：さいたま市中央区 代表取締役社長：梅田弘之、東証1部 証券コード3826、以下「当社」）は、データベース開発支援ツール「SI Object Browser for Oracle」のメジャーバージョンアップ版を**2015年9月15日**から販売開始いたします。

「SI Object Browser」シリーズは、1997年の販売開始以来、日本国内で15,000社以上、340,000を超えるライセンスの販売実績があり（2015年7月末日時点）、データベース関連ツールとしてデファクトスタンダードとなっております。



「SI Object Browser for Oracle Ver.13.0」は、Oracle Database 12cで注目されている「Oracle Database In-Memory」機能に対応いたしました。さらにOracle 12cのマルチテナ



ト・コンテナデータベースの操作画面を実装し、手軽に配下にあるプラガブルデータベースの状況を把握、操作することができます。

また、近年クラウドコンピューティングサービスとして有名なAmazon Web Servicesにフォーカスをあて、仮想クラウドサーバーであるEC2およびクラウドデータベースのRDS(for Oracle)に対応いたしました。クラウド上のデータベースに対し、今までどおりの操作感でデータベースの運用が可能となりました。

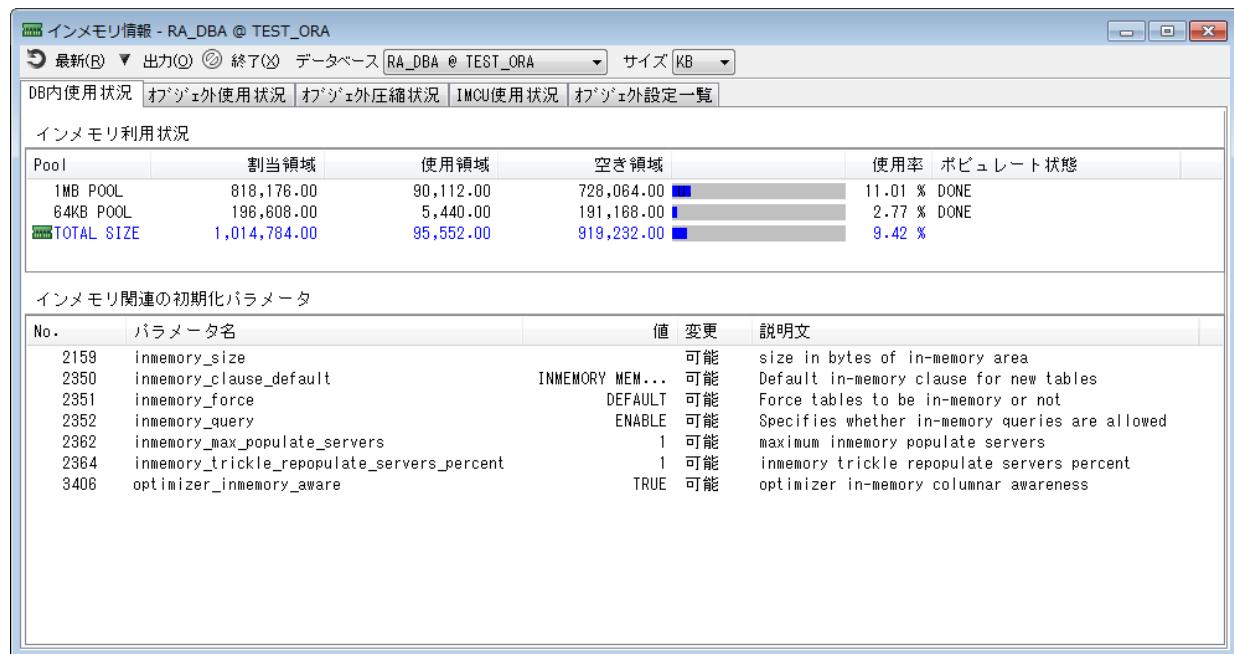
さらに、先日販売が開始されたWindows10へも対応いたしました。

上記以外にも「SQL履歴」のお気に入りへの保存、既存機能である「データ生成機能」の高速化、適所に検索欄を設けるなど、ユーザビリティ向上のための機能改良や拡充を行っております。

■インメモリ管理画面

データベースで使用中のインメモリ領域や関連する項目を把握する画面です。

インメモリ化されたテーブルがどのような圧縮方法で格納されているか、どのテーブルがどれだけのメモリを使用しているか、設定は最適か、などのチューニングの指標とすることが可能です。



■テーブルのインメモリ化

テーブルに対するインメモリ設定を実装しました。

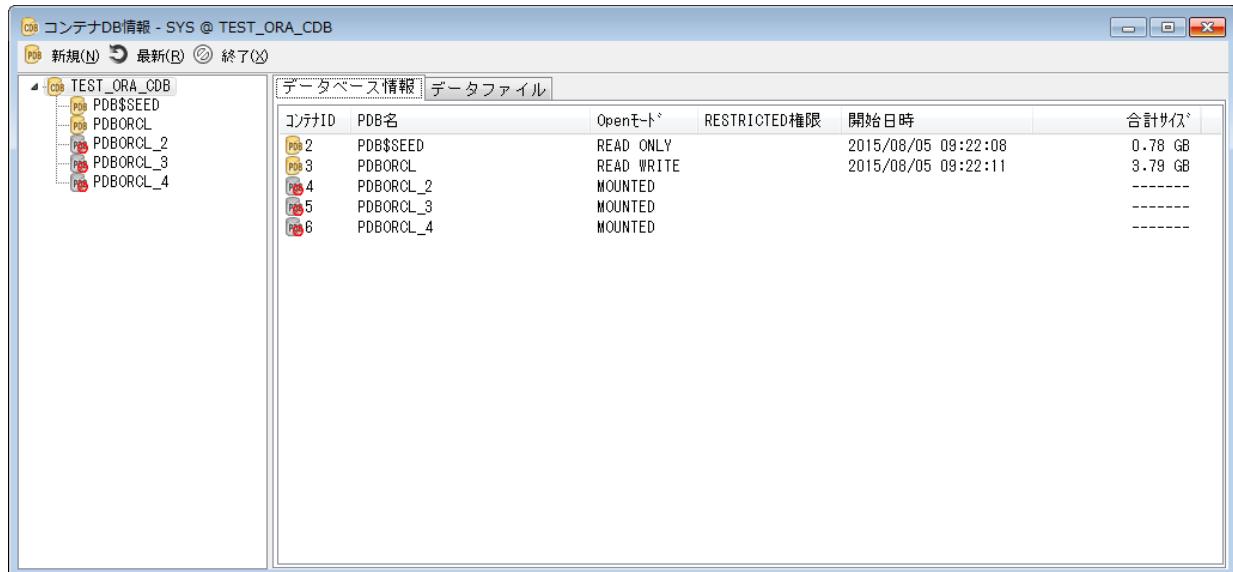
現状のメモリ使用量やインメモリ化した際の見積りを確認しつつ設定が可能です。一見難しそうな画面に見えますが、左上の「【IM列ストア】表単位」のチェックボックスをONにするだけでインメモリ設定は可能です。反対にメモリの都合上、列単位で圧縮方法の変更を行うなどの細かいチューンナップも可能となっております。

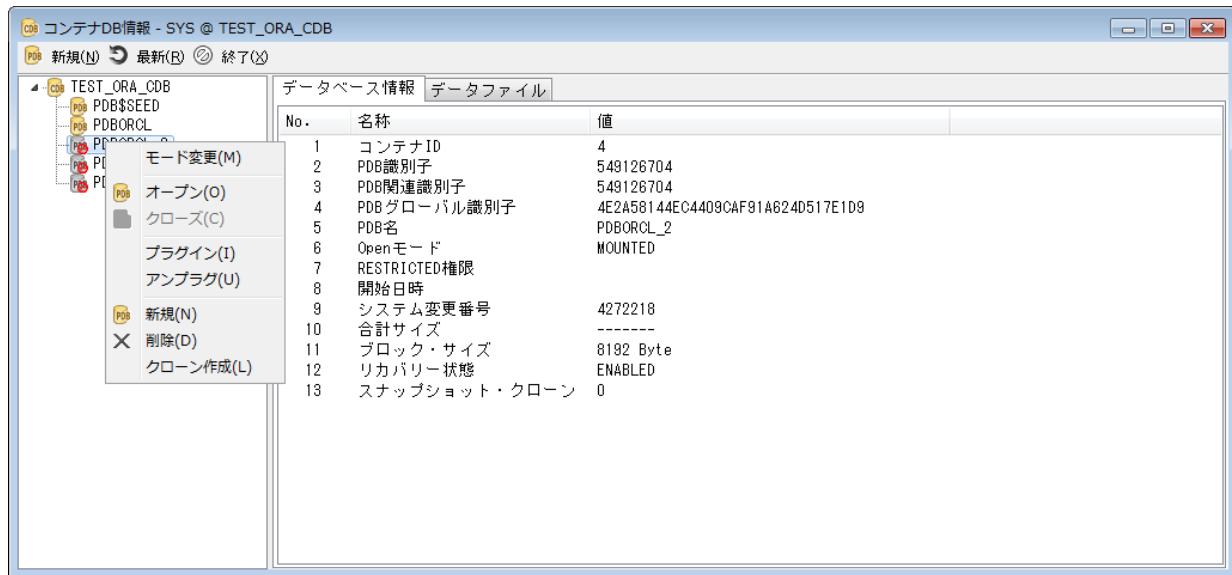


■ コンテナDB情報画面

データベースがコンテナ構成の場合、SYSユーザーはコンテナDB情報画面が利用可能になります。ルートCDB配下のプラガブルデータベースの状態を把握するための画面となります。

また、画面からプラガブルデータベースのオープン、クローズの操作や開発環境のための新規データベースの作成を行うことも可能です。

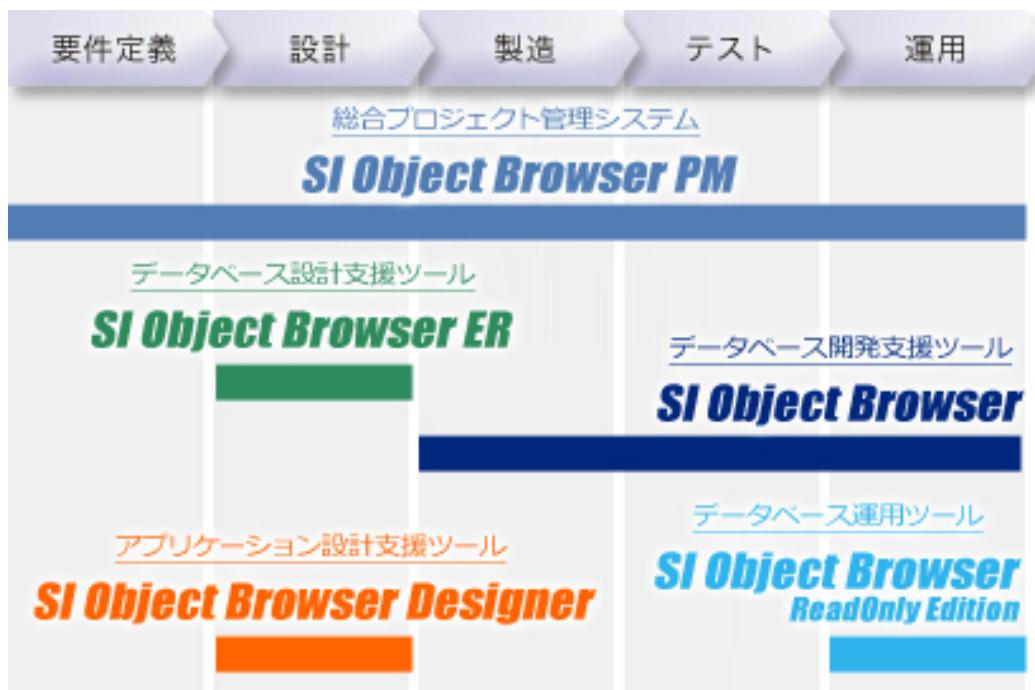




■ 「SI Object Browser」シリーズ製品について

当社は、ソフトウェア開発の近代化を推進し、日本のIT産業の国際競争力強化を目指しております。「SI Object Browser」シリーズは、その目標のための製品群で、ソフトウェア・ライフサイクル・プロセス（SLCP）全体をカバーする総合支援ツールです。現在の「SI Object Browser」シリーズは次の4製品です。

- ・データベース開発支援ツール 「SI Object Browser」
- ・データベース設計支援ツール 「SI Object Browser ER」
- ・統合プロジェクト管理ツール 「SI Object Browser PM」
- ・設計書ジェネレータ 「SI Object Browser Designer」



■ 「SI Object Browser」シリーズ製品の販売計画

今回バージョンアップリリースする「SI Object Browser for Oracle」は、「SI Object Browser」シリーズの看板製品です。Oracle の注目度の高い新機能および Amazon 環境の利用者増加を見込み、「SI Object Browser for Oracle」は 2015 年度から 3 年間で約 9 億円、「SI Object Browser」シリーズ全体では、同年から 3 年間で約 16 億円の販売を見込んでおります。

■ ライセンス体系及び価格（税抜）

ライセンス数	SI Object Browser(メディア販売) ※1※2
1 クライアントライセンス	¥46,500-
5 クライアントライセンス	¥118,500-
10 クライアントライセンス	¥166,500-
20 クライアントライセンス	¥226,500-
50 クライアントライセンス	¥456,500-
100 クライアントライセンス	¥684,500-
200 クライアントライセンス	¥1,027,000-

※1 各ライセンス数とも、メディアは1枚となります。

※2 別途¥3,500.-（税抜き）のメディア代金がかかります。

※3 有償保守へのご加入は任意となります。

■ 「SI Object Browser」保守サービスについて

お客様が常に最新バージョンを利用していただけるように、保守サービスを割安で提供しています。保守サービスにご加入いただいたユーザー様には電話やメールによるテクニカルサポートの他、最新バージョンのライセンスを無償で提供しております。保守サービス期間は2年で、1年あたりの保守サービス価格は、ライセンス価格の20%となっています。また、旧バージョンのライセンスをお持ちのユーザー様も、保守サービスにご加入いただくことが可能です。保守サービスに関する詳細については、以下の URL をご参照ください。

【SI Object Browser 製品ページ】

<http://www.sint.co.jp/products/siob/ob/sp/support.html>

【システムインテグレータについて】

会社名	株式会社システムインテグレータ
証券コード	3826 (東証1部)
所在地	埼玉県さいたま市中央区新都心11番地2 ランド・アクシス・タワー（明治安田生命さいたま新都心ビル）32階
設立	1995年3月
代表者	代表取締役社長 梅田 弘之

資本金	3億6,771万円
URL	http://www.sint.co.jp/
事業内容	業務用パッケージ開発・販売、コンサルティング、システムインテグレーション（EC、ERP、プロジェクト管理、データベース開発支援ツール、データベース設計支援ツール、アプリケーション設計書作成支援ツール、e-learning、O2Oマーケティング等）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社システムインテグレータ

Object Browser事業部：本田

TEL : 03-5768-7695 FAX : 03-5768-7884

E-mail : oob@sint.co.jp

製品ホームページ : <http://www.sint.co.jp/products/siob/>

※記載されている商品名は、各社の商標または登録商標です。

※本広報資料の転送／引用は、ご自由にご利用下さい。